

2018年12月16日 主日礼拝

司 会 ①笠松兄 ②小林猪兄 ③広山兄

奏 楽

祈 禱 ①ダビデ兄 ②田中佑兄 ③右澤兄

賛 美 聖歌137番「入れまつる家あらず」

(急ぎゆきて・讚美歌111番)(喜び喜びがある)(あがめます主の御名)

3つの愛

聖 書 ①②ヨハネによる福音書1章14～18節 (P135)

③ マタイによる福音書1章18～25節 (P1)

音 楽 ① 感謝組

②③アサリオン

証 詞 ①②江籠俊文兄(バルナバ会)

メッセージ ①②「神のロジック(論理)」 坪井永城副牧師

③ 「ヨセフさん、ありがとう!!」 大川従道牧師

賛 美 「罪重荷をのぞくは」(聖歌425番)(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである。」
(マタイの二十二)

【大和ニュース】

☆来週はクリスマス礼拝とイヴ礼拝、心して祈り誘い合いましょ。

・ 入門講座Ⅲ、送迎駐車場、J. Plus。 ☆SSXマス祝会(14時・泉チャペル)

* 東京カルバリーは、16時50分。説教は大川牧師、特賛は衛藤姉。

* 今年も一年守られたこと、恵みをいただいたことを感謝し、心から「年末感謝献金」を捧げましょう。伝道者、宣教師の家族の支援に用いられます。袋は、受付にて。

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は丸藤伝道師 ②木曜朝は小林伝道師
③金曜夜は大野メディア伝道師

・ ICAXマスは火曜日。 ・アブラハム会掃除、会堂掃除、聖歌隊は土曜日。

石の枕

「サッチャン」「いぬのおまわりさん」を知らない日本人はいないであろう。「作曲家・大中恩さんを悼む」と朝日新聞が紹介してくれた。

3日、94歳で永眠された。(多分、代々「霊南坂教会」の信徒さんでしょう。)父の大中寅二は「やしの実」の作曲家、母の文子は熱心なクリスチャンで、聖書の一節から「恩(めぐみ)」と名付けられた。小さい時から父のオルガンに合せて賛美歌を歌った体験が後の曲作りには大きかったようだ。賛美歌のように「誰もがうたえる優しいメロディー」がモットーだった。

すてきな笑顔の写真と共に、記載されてうれしかった。

私大川の少年時代は、お父さんの大中先生のことがよく牧師の説教の中で引用された。お仕事で遠くに出ておられても、日曜日を休まず、必ず教会にもどり、オルガンのご奉仕を大切にされていた。

もうひとり、内村鑑三先生の息子さん祐之氏のこと。東大野球部の名投手で、そのドロップは高く評価されていた。後に、東大病院の医者と教授をされたように記憶している。「野球を続けてもよいが、日曜礼拝を休むようなら、野球をやめなさい」と厳しく指導されていたとのことであった。

上記お二人には、お会いして信仰の交わりをしたかった。

先日、中年の男性からお手紙をいただいた。

私は、吉野家の牛丼が大好きです。ところで、大川先生のメッセージは、牛丼の様です。(スママセン。)

理由は、(1)早い——福音の神髄が即理解できる！

(2)安い——感動のメッセージがタダ！！(吉野家は380円)

(3)うまい——霊的スキッ腹の時に頂く先生の「み言葉丼」は、もうヨダレが止まりません！明日も満腹いただきます！！

私大川は、牧師として、この評価をすなおに受け入れるべきかどうかを考えてみた。そして、ともかく一度は「吉野家の牛丼」を食べてみようと思った？！

*来週は、クリスマスにふさわしい高質なコラムを書く予定です。今日は「西郷どん」に集中？！来週は、47回目のXマス。“ああ、感謝せん”(ヘンデル)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: 黙示録7章~13章 Bコース: アモス7章~ナホム